

## とうきょう すぐわくプログラム活動報告書〈令和7年度〉

法人名	社会福祉法人崇仁会
施設名	代沢みこころ保育園
所在	世田谷区代沢2-27-1
クラス	きりん組(4歳児クラス)、らいおん組(5歳児クラス)

代沢みこころ保育園では園全体で「自然」をテーマに取り組んでいます。

今回は4・5歳児クラスの美術教室の様子を紹介します。

色で季節を感じられるということで、「秋らしい色」を使って自由に絵を描くことに取組みました。

■日時:2025年9月2日(火) トーンの学び②「ディープトーン(秋色)の世界」

■ねらい

・ディープトーン 4~5色の絵の具を使って、その色から感じ取ったイメージを表してみよう。

■活動内容

- 1.前回の復習をし、ペールトーンが純色(絵の具色)に白を加えて色であること伝える
- 2.今回のテーマである「ディープトーン(深みのある色)」からイメージできるものを描いてみよう。
- 3.色が混ざって濁ってしまわないように、筆の使い方(水の加え方、雑巾と筆洗で筆を洗う)を指導する。
- 4.後は自由表現で。

■活動の様子



深い青、深い紫、茶色、黄土色の4色の乗ったパレットを前にワクワクの子ども達。講師が画用紙にそれぞれの色を使って丸を描いて見せると、「きれい」「くらい」等色から感じ取ったことを言葉にする子ども達。

初めはただ、色を確認するように丸や線を描いている子どもが多くいました。

そのうち色から木の実や秋の草花を思いつき、描く子ども達の姿がありました。

### ■まとめ

- ・4回目のお絵かきは与えられた絵の具に筆洗から水を足したり、筆を雑巾で洗ったりする難しい課題があったが、あまりアドバイスもせずに自力で描いていた。
- ・絵の具による描画は難しい課題なのに一定時間表現に集中できていた。
- ・ディープトーン(秋色)は落ち着いた色なので心も安定するように感じた。
- ・トーンがイメージを表すことを体験的に理解してほしいというのがPCCS(日本色研表色系)の目的であるので、しばらくはこのトーン概念を理屈ではなく体験・理解する課題をいろいろな方法で探求してみたい。

### ■終わりに

皆が描いた絵を飾ると園内がすっかり秋めいた雰囲気になりました。

